授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
病態学Ⅶ （小児）	2年次	前期	1	15	有

科目責任者	市河茂樹
授業概要	小児特有の疾患について、それぞれの器官に生じる疾患の原因や病気の成り立ちなどの特徴を肉眼・組織の写真と病態を表現したイラスト等をを用いて学ぶ。
目標	1. 小児の代表的な疾患について、発生の原因・症状・検査・治療について理解できる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	小児科総論 低出生体重児と成熟異常 染色体異常・先天異常	市河	講義
2	感染症	市河	講義
3	消化器疾患 腎・泌尿器疾患	市河	講義
4	発達障害 神経系疾患	市河	講義
5	呼吸器疾患 循環器疾患 神経系疾患	市河	講義
6	悪性新生物 血液	市河	講義
7	アレルギー疾患 内分泌・代謝	市河	講義
8	事故・虐待 健診・予防接種	市河	講義
9	試験	市河	—

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　病理学　疾病の成り立ちと回復の促進①　医学書院 系統看護学講座　専門基礎分野　病態生理学　疾病の成り立ちと回復の促進②　医学書院
参考書	なし
評価方法・基準	試験（100%）